

特集2 ハイテク推進セミナー

# CO<sub>2</sub>削減最前線

## ～ パリ協定をめぐる我が国の最新技術 ～

主催 一般社団法人 生産技術振興協会  
共催 一般社団法人 大阪大学工業会  
後援 近畿経済産業局、大阪商工会議所



〈開会挨拶〉  
事業企画委員長 今中 信人

生産技術振興協会では、今回の「ハイテク推進セミナー」と「新春トップセミナー」が年間の大きな2つの行事でありまして、このハイテク推進セミナーではできるだけ多くの方に参加していただきたいという趣旨から、参加費もできるだけ下げて企画しております。本日は満員御礼ということで、大変有難く思っております。

セミナーの内容ですが2015年9月に全ての国連加盟国は「持続的な開発目標SDGs」を計画し、この地球上の多くの問題の中から17の目標が合意され、2030年のゴールとして二酸化炭素削減目標が提示されています。このような流れを受けて、わが国日本には、最新の二酸化炭素削減技術を導入し、地球温暖化防止に貢献すると共に低炭素社会を創造することが期待されています。日本の二酸化炭素削減目標は、2013年度ベースで、2030年度までに26%削

減、2050年度までに80%削減となっており、現状のエネルギー機器の高効率化では対応できないレベルであり、これを実現するためにはイノベーションによるパラダイムシフトが必要不可欠な状況となっています。そこで本年度の生産技術振興協会のハイテク推進セミナーでは、二酸化炭素削減技術を先導されている方々を講師としてお招きし、低炭素社会創造の最前線についてご講演いただきます。

今回は燃焼工学がご専門の大阪大学教授赤松史光先生にお願いして企画していただきました。10時10分から夕方5時まで長丁場になりますが、積極的な御参加をお願いいたします。テーマの「CO<sub>2</sub>削減最前線」が皆さんにとって今後の糧になるようであれば、我々としても大変有難いと思っております。講演をご堪能いただければ幸いに存じます。